

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

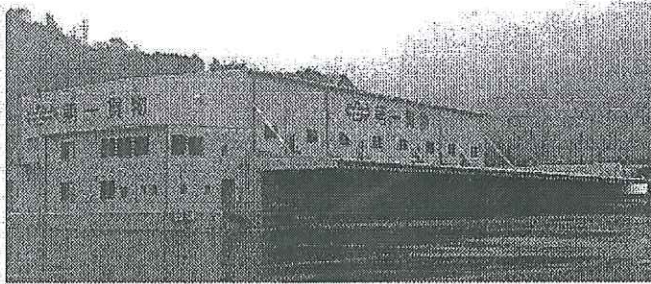
第2887号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

3/30

平成22年
(2010)
(火曜日)
週刊

第一貨物(本社・山形市、武藤幸規社長)は29日、「新静岡支店」を開設した。「物流と情報が融合した新しいサービスを提供していきたい」(武藤社長)。特積みターミナルと一時保管施設を備え、高品質な輸送サービスの展開を図る。

(水谷 周平)



静岡に新ターミナル

第一貨物 2支店統合で効率化



武藤 幸規社長

静岡県下四支店のうち、老朽化やスペースの狭さ、労働環境面で課題があった静岡支店と藤枝支店を統合。店間回送

静岡支店と藤枝支店を統合した新静岡支店
静岡支店と藤枝支店を統合した新静岡支店
や効率の低下などを解消した。
フラットホーム拡張や幹線便も増便(二十一便)。運行車十四台、集配車四十三台で営業を開始。自社集配エリアも吉田町、牧の原市に拡大した。
所在地は、静岡市駿河区小坂一ノ七九。敷地面積は約二万平方メートルで、統合前の約二倍。一部二階建てで、延べ床

面積約六千六百平方メートル。想定される東海地震の一・二倍の地震に耐えられる。

ホームは約千八百平方メートル。作業効率向上のため、中間に柱のない空間を設け、昇降機二基とエアードックエレベーター一基を備えた。

管理棟二棟、二階建ての一時保管施設(約二千六百平方メートル)、給油所も併設。保管から輸送まで一貫サービスを図る。